

研究課題名	インターフェロンフリー治療が C 型肝炎患者の予後を含めたアウトカムに与える影響を明らかにする研究
研究機関名	武蔵野赤十字病院
研究責任者	所属 消化器科 氏名 黒崎 雅之
研究期間	2022年4月 ～ 2025年3月
研究の意義・目的	<p>全体研究は下記を目的とする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DAA治療をおこなったC型肝炎患者の臨床情報を継続して収集することにより、長期経過を明らかにし、C型肝炎に対する診療指針作成に必須となる質の高いエビデンスが発信することを目的とする。特に非代償性肝硬変患者の長期生命予後を改善させたかについても明らかにすることを旨とする。 <p>個別研究は、下記を目的とする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肝硬変患者においてウイルスが排除された後の肝線維化の改善について、肝硬度の経時的可逆性をあきらかとする。 ・肝硬度の経時的な変化と肝予備能、肝発癌、胃食道静脈瘤、生命予後との関連をあきらかとする。
研究の方法 (対象期間含む)	<p>全体研究に協力するため必要なデータを提出する</p> <p>個別研究として、下記を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R4年度は、肝硬度改善と関連する因子を同定する ・R5年度は、肝硬度改善と肝予備能の改善や肝関連合併症との関連を検討する ・R6年度は、肝硬度の改善と肝予備能、肝発癌、胃食道静脈瘤、生命予後との関連を検討する
①試料・情報の利用目的及び利用方法（匿名加工する場合や他機関へ提供される場合はその方法含む） ②利用し、又は提供する試料・情報の項目 ③利用する者の範囲 ④試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	<p>①個人情報保護法の趣旨に沿って個人情報を取り扱う。個人情報を記載した試料・情報は、管理責任者（調査実施責任者および担当者）の適切な管理の下、第三者からの不正アクセス、第三者への漏えい防止および紛失等その他の安全管理を厳重に行う。</p> <p>②患者背景（年齢、性別、合併症または既往歴の有無）、血液学的検査結果、放射線画像検査結果、非侵襲的肝線維化評価結果、投薬状況</p> <p>③全国赤十字病院、全国肝疾患診療連携拠点病院、外部協力施設が参加する研究であり、各施設のデータはその代表者が個別に利用する。それらを統合した研究を行うのは武蔵野赤十字病院であり、玉城信治、黒崎雅之が匿名化されたデータを利用する。</p> <p>④武蔵野赤十字病院 消化器科 黒崎雅之</p>
問合せ先	<p>当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ</p> <p>〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 消化器科 氏名 黒崎 雅之</p> <p>TEL : 0422-32-3111 (代表) FAX : 0422-32-9551</p>